



PRESS RELEASE

令和3年11月16日
海上幕僚監部

(お知らせ)

令和3年度海上自衛隊演習（実動演習（日米共同演習及び日米豪加独共同訓練））について

海上自衛隊は、次のとおり令和3年度海上自衛隊演習（実動演習（日米共同演習及び日米豪加独共同訓練））を実施します。

1 目的

- (1) 各級指揮官の戦術判断、部隊運用要領を演練
- (2) 海上自衛隊の任務遂行能力の向上
- (3) 米海軍との共同対処能力及び相互運用性の向上
- (4) 海上自衛隊とオーストラリア海軍、カナダ海軍及びドイツ海軍との連携強化

2 期間

令和3年11月21日（日）～30日（火）

3 演習海空域

日本周辺

4 統裁官

自衛艦隊司令官 海将 湯浅 秀樹（ゆあさ ひでき）

5 参加部隊等

- (1) 海上自衛隊：艦艇約20隻、航空機約40機
- (2) 米海軍：艦艇約10隻
- (3) オーストラリア海軍：艦艇2隻
- (4) カナダ海軍：艦艇1隻
- (5) ドイツ海軍：艦艇1隻

6 主要演習項目

対潜戦、PHOTO EX等

7 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症への必要な対策を行い実施します。
- (2) 海上自衛隊演習は、昭和29年から、海上自衛隊演習期間中の米海軍との訓練は昭和56年から、オーストラリア海軍との訓練は令和元年から、カナダ海軍との訓練は平成29年から実施しています。また、海上自衛隊演習期間中のドイツ海軍との訓練は今回が初めての実施となります。